

社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会 宮城県 説明資料



■復興道路 三陸沿岸道路（仮称）気仙沼湾横断橋（提供：国土交通省 仙台河川国道事務所）

令和2年8月21日

宮城県知事 村井嘉浩



本日の内容

- 1 新型コロナウイルス感染症による県内の影響**
- 2 高速道路施策に求めること**

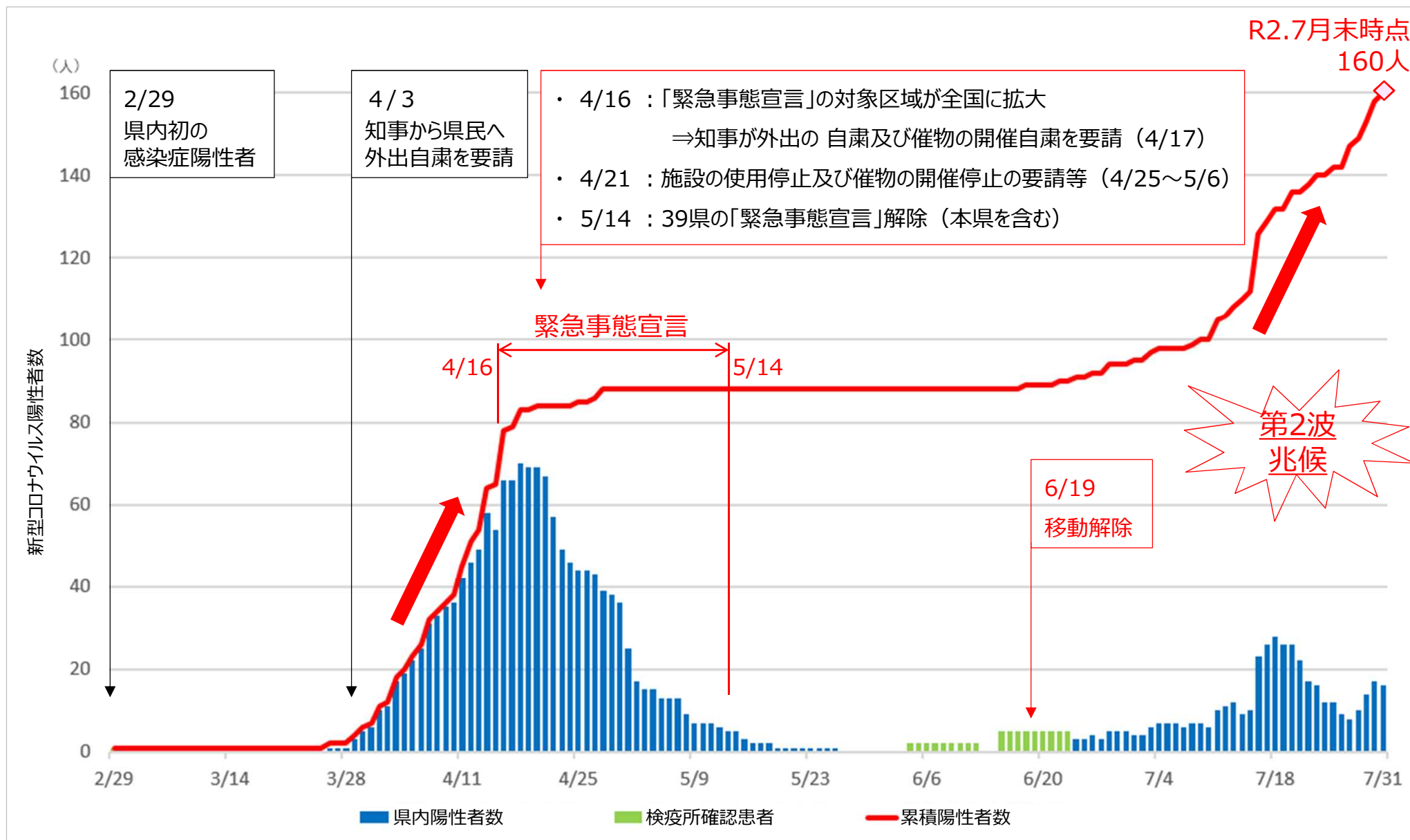
1 新型コロナウイルス感染症による県内の影響

(1) 県内の感染状況

(2) 地域経済の影響

(3) 交通機関の影響

(1) 県内の感染状況

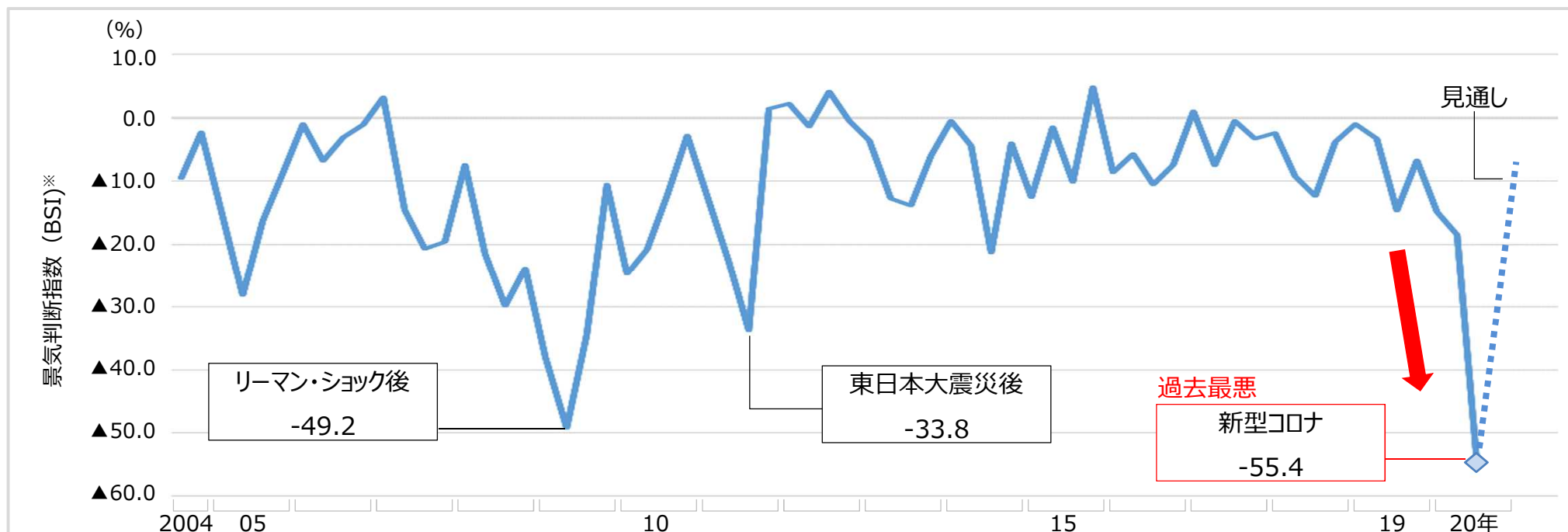


資料：宮城県新型コロナウイルス感染症対策サイト

(2) 地域経済の影響

■ 法人企業景気予測調査結果（令和2年4 - 6月期） 宮城県分

- 調査機関：財務省東北財務局
- 調査時点：令和2年5月15日
- 調査対象：資本金1千万円以上の法人企業（宮城県内は193社が対象）



※景気判断指数 (BSI) = (景気が上昇とした企業の割合) - (下降とした企業の割合)

【製造業】…BSI：-45.7（「輸送機械」，「鉄鋼」が悪化）

- ・ 新車新規登録台数（前年同月比）
⇒ 4月：▲28%，5月：▲42%，6月：▲19%
- ・ 新車需要の低迷により，自動車向け鋼材や部品生産も減少

↓
経済情勢の悪化

【非製造業】…BSI：-58.9（「宿泊・飲食」，「娯楽」が悪化）

- ・ 県内延べ宿泊者数（前年同月比）
⇒ 4月：▲80%，5月：▲84%，6月：▲62%
- ・ 休業要請期間中（4/25～5/6）の宿泊施設：全館休業（7割弱）

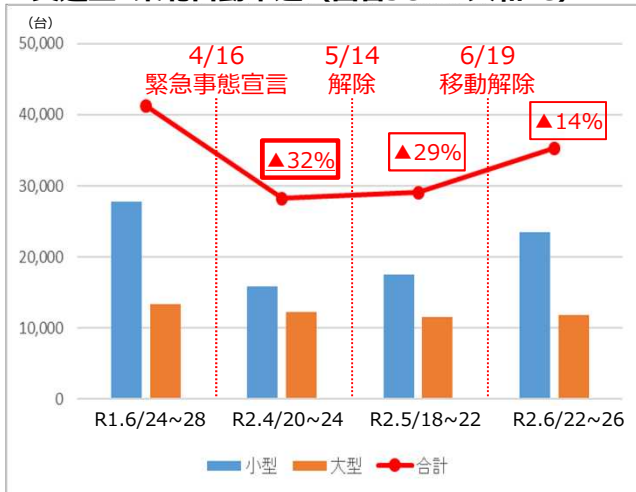
↓
大打撃を受けた観光業

(3) 交通機関の影響

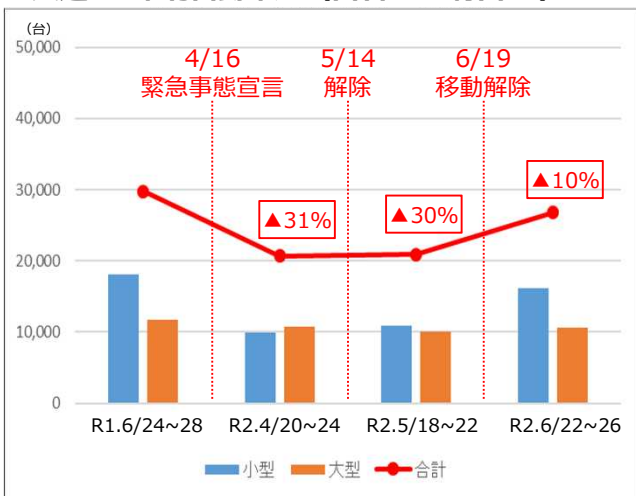
【高速】

- ・ 交通量(全体) : 大幅減 ⇒ **利用の低迷**
- ・ 交通量(大型) : 微減 ⇒ **物流の維持**

■ 交通量 東北自動車道 (富谷JCT~大和IC)



■ 交通量 東北自動車道 (白石IC~村田IC)



□ : 交通量の合計 (前年6月比)



【鉄道】

- ・ 東北新幹線の利用状況(前年同月比)
⇒4月: ▲90%, 5月: ▲91%, 6月: ▲76%

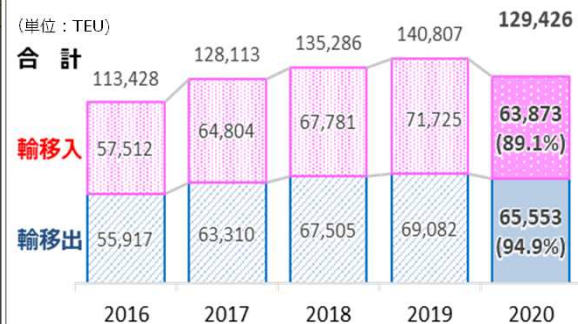
【航空】

- ・ 仙台空港の旅客数(前年同月比)
⇒4月: ▲86%, 5月: ▲92%, 6月: ▲80%

【港湾】

- ・ クルーズ船寄港中止(▲12回)
- ・ コンテナ取扱量は12.9万TEU (前年同期比91.9%) で微減
- ・ 世界的な自動車市場の落ち込み等により自動車部品の輸移出減少が顕著

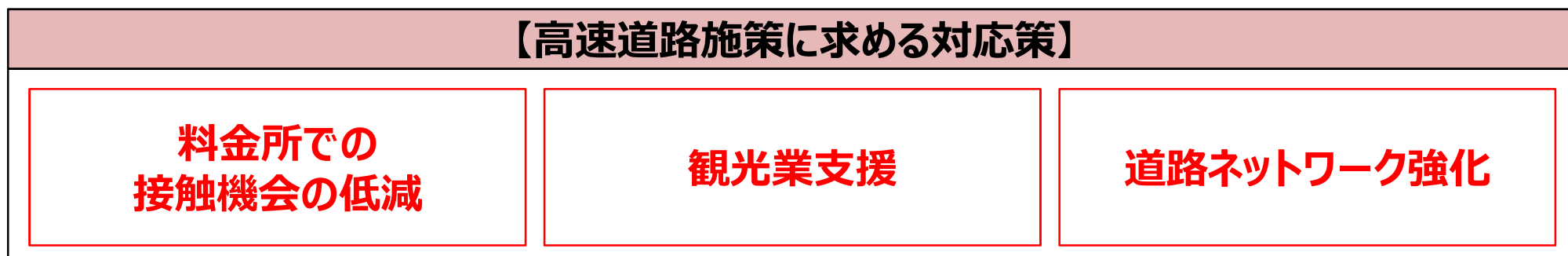
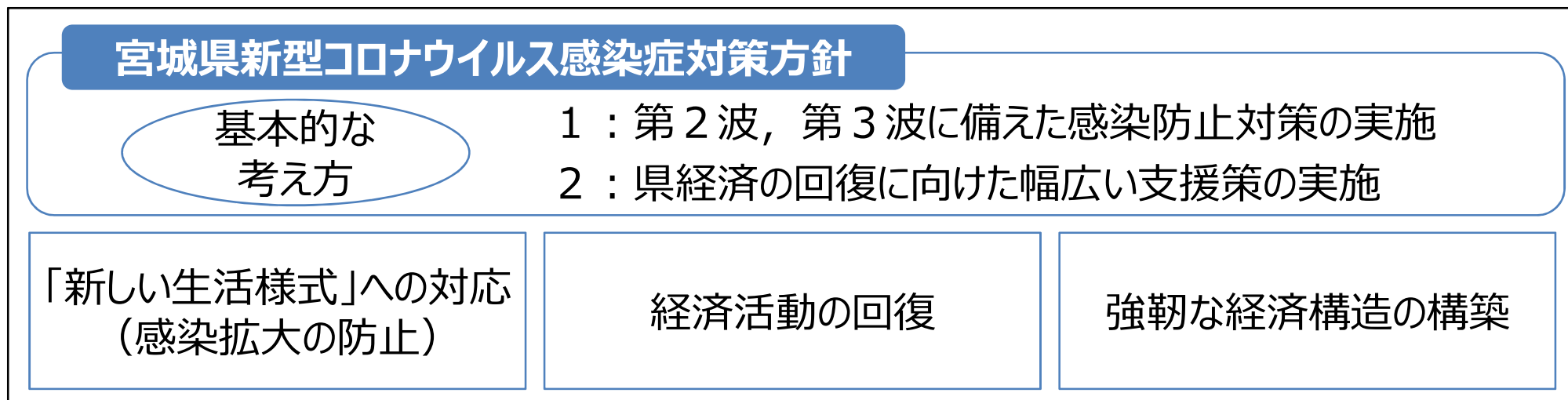
■ コンテナ取扱量の推移1-6月期 (5年比較)



【バス】

- ・ バス事業者の損害金 ▲9.7億円
- ・ 4~5月のバスツアーは**全て中止**

感染状況	地域経済	交通機関
<ul style="list-style-type: none">○ 感染の流行○ 第2波の兆候	<ul style="list-style-type: none">○ 経済情勢の悪化○ 大打撃を受けた観光業	<ul style="list-style-type: none">○ 利用の低迷○ 物流の維持



2 高速道路施策に求めること

- (1) ETC専用化による接触機会の低減
- (2) 観光需要の喚起に向けた支援
- (3) 仙台都市圏における高速環状ネットワークの強化
 - 財源確保に関する提案

(1) ETC専用化による接触機会の低減

- 非ETC車のETC利用促進に向けた、ETC車載器の購入費助成等の支援
 - ETCゲート設置・システム更新等への支援（特に地方道路公社に対する助成措置）
-
- ※ 一般料金所（有人ブース）で証明書提示等を求める場合の代替措置について配慮
- 例）原発事故の避難者を対象とする高速道路の無料措置（宮城県では丸森町が対象）
- 例）災害ボランティア車両通行（令和元年東日本台風で県内の実績有り）

■ 県内のETC利用状況(R1時点)

会社	延長	IC	スマートIC	ETC利用率	料金所	
					ETC	一般
NEXCO東	238.5km	34箇所	6箇所	88%	106箇所	61箇所
道路公社	18.3km	5箇所	0箇所	83%	25箇所	3箇所
合計		39箇所	6箇所	86%	132箇所	64箇所

※ 国土交通省管理区間は料金所無し（無料区間）
 ※ 県内全てのICがETC対応済み

- ・ 14%の非ETC利用車 ⇒ ETCの利用促進が必要
- ・ 64箇所の一般料金所 ⇒ ETC専用化対策が必要

■ 県内の高速道路管理者



■ GW期間(R1)の料金収受員取扱い車両数《参考》

- ・ 期間：令和元年4月27日（土）～5月6日（GW期間）
- ・ 場所：鳴瀬奥松島IC（宮城県道路公社 管理）
- ・ 運用：ETC 2レーン，一般 2レーン
- ・ 人数：6名交代/日
- ・ 結果：約 **400** 台/人・日（参考値）



(2) 観光需要の喚起に向けた支援

- 高速道路料金割引制度の拡充, 高速道路利用を含む旅行商品の割引支援等による観光施策の後押し
- 社会資本の要である高規格幹線道路網14,000kmの確実な整備推進 (ミッシングリンクの解消)

■ 県の観光施策

【宮城の宿に泊まって地元応援 「せんだい・みやぎ絆の宿キャンペーン」】

- ・ 宮城県内在住者限定で県内への宿泊費が最大5千円割引
- ・ GoToトラベル事業と併用可能



【愛するみやぎドットコム】

- ・ クラウドファンディングプロジェクト
- ・ 2割増し利用券を購入し, 宿泊施設や飲食店を応援



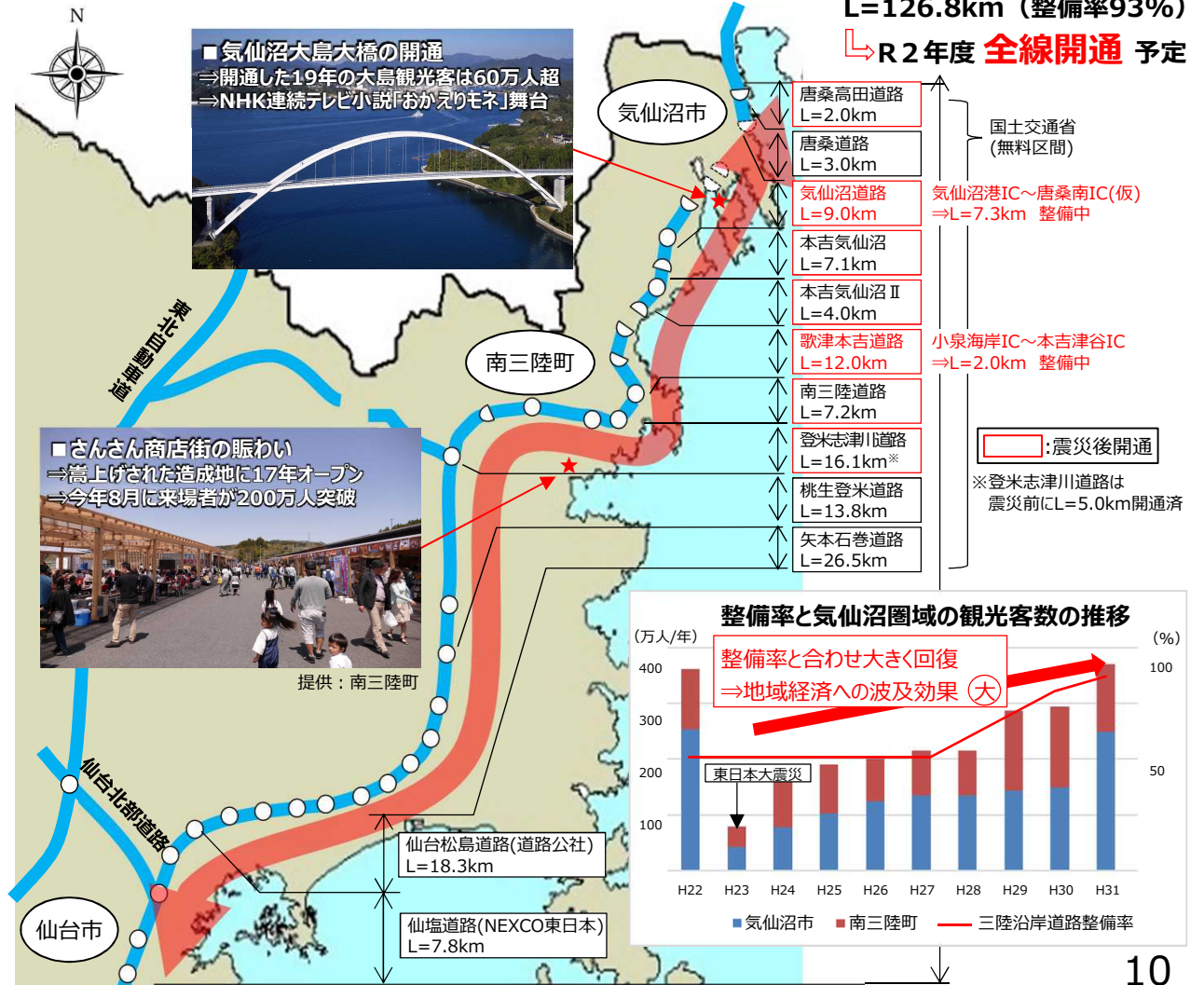
【安心な観光地づくり推進事業】

- ・ 安心して観光できるように, 感染症対策を周知(可視化)

(例) 宿泊施設向けステッカー



■ 三陸沿岸道路の整備状況と整備効果



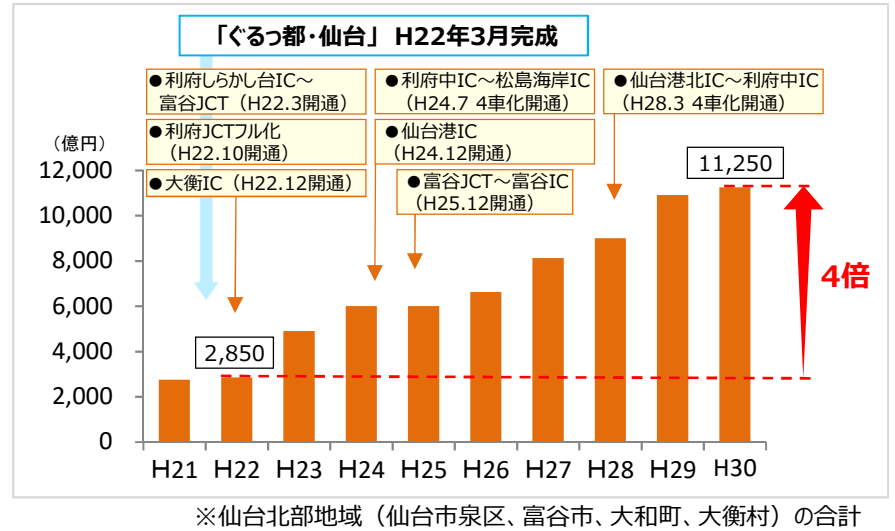
(3) 仙台都市圏における高速環状ネットワークの強化

○ ウィズコロナにおける社会を支えるため、東京一極集中から地方分散への支援
 ⇒ 強靱な経済構造構築に向け、仙台北部道路の4車線化による「ぐるっ都・仙台」の機能強化

■ぐるっ都・仙台の整備状況・主な工場等立地状況



■仙台北部地域における製造品出荷額等の推移



仙台北部道路の現状・課題

- ①時間信頼性の確保の観点
 ⇒ 交通量：計画の約1.4倍(渋滞)
- ②事故防止の観点
 ⇒ 事故：約25回/年
- ③ネットワーク代替性確保の観点
 ⇒ 通行止：約10回/年

速度低下状況(利府しらかし台~利府JCT)
 提供：NEXCO東日本

- 仙台北部中核工業団地群周辺で、複数の新工場がR3稼働予定
- コロナによる社会情勢の変化（医療関係物資生産等の動き）
- 東京一極集中等によるリスクを減少・回避（地方分散が必要）

仙台北部道路の4車線化による「ぐるっ都・仙台」の機能強化 11

ミッシングリンク解消	暫定2車線区間の4車線化 (財政投融资の活用)
○ 14,000km うち 未整備は約2,100km (整備率85%) ⇒ 東北の未整備は約490km (整備率78%) …日沿道等	○ 暫定2車線の優先整備約880km (うち事業化約110km) ⇒ 4車線化の 未事業は約770km …仙台北部道路等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症による料金収入の低下 ・ 料金収入の低下は今後も続く可能性がある 	⇒ 新規路線・4車線化の財源確保が大きな課題

【提案】「料金徴収期間の柔軟な対応」による財源確保

<p>【提案1】 R33以降の料金徴収期間における建設債務の償還</p> <p>現在: H17 (建設債務 償還) R32 (更新債務 償還) R42 (料金徴収期限)</p> <p>変更: H17 (建設債務 償還) R32 (更新債務 償還) R42 (建設債務 償還) R47 (建設債務 償還)</p> <p style="color: red; text-align: center;">料金収入による建設債務 償還</p>	<p>【提案2】 料金徴収期間のR47以降への延長 ※法改正が必要</p> <p>現在: H17 (道路整備特別措置法における料金徴収期間) R42</p> <p>変更: H17 (道路整備特別措置法における料金徴収期間) R47</p> <p style="color: red; text-align: center;">必要な道路整備費用を償還できる料金徴収期間を確保</p> <p style="text-align: center; border: 1px dashed red; padding: 5px;">延長</p>
---	---

理由 : 利用者負担は世代間の公平性を考慮 (今の世代だけでなく将来世代も負担)